

映像通報システム(Live119)

火災・救急対応にスマートフォンを活用

火災が発生した時や、急な病気やけがで助けが必要な時など、消防車や救急車を要請するために使う119番通報。スマートフォンを使って、映像を交えて通報できる「映像通報システム(Live119)」の運用を開始しました。



現場の状況を映像で共有

119番通報をする、ちば消防共同指令センターにつながり、「火災なのか救急なのか」「出動場所はどこなのか」といった情報を指令管制員から聴取されます。

「映像通報システム」では、災害現場や傷病者の状況を音声だけでなく映像も交えて、指令管制員とやりとりすることができ、口頭では説明しにくい現場の状況も簡単に伝えられます。

また、応急手当ての方法が分からない場合は、指令管制員から応急手当ての動画を受信することで、動画を見ながら処置ができるようになります。

このシステムの運用により現場に到着した消防隊・救急

隊の迅速・的確な活動や救命率の向上につながることが見込まれています。

登録不要ですぐに使える

映像通報システムを使う時、事前登録やアプリのダウンロードは不要です。指令管制員からショートメッセージ(SMS)で送信されるURLに接続することで、すぐに利

用できますが、映像送信にかかる通信料金が通報者側にかかりますので、ご理解とご協力をお願いします。

詳細は、ちば消防共同指令センターホームページ(<http://chb1018.hs.plala.or.jp/report/live.html>)を確認してください。



映像通報システムの利用の流れ

